

表紙（作成中）

心地よさ 息づくまち 川西
～ジブンイロ叶う未来へ～
2024-2031

市長挨拶（作成中）

目次（作成中）



「みんなが笑顔で暮らせるために、何を大切に思い、川西がどんなまちをめざすのか」。

それをまとめたものが「総合計画」です。

ここには、様々な分野に関わる「まちづくりの基本方針」が詰まっています。

まちづくりを進めるにあたり、私たちは「川西がめざす都市像」と

「大切にしたい基本姿勢」を皆さんと共有していきます。

市民の皆さんとつくった「川西市総合計画」を掲げ、

ミライのため共に歩んでいきたい。そんな思いを込めた一冊です。

かわにしてってこんなところ

利便生の良さと豊かな自然に恵まれた環境を活かし、住宅都市として発展してきた川西。

黒川地区の里山や清流猪名川など、身近に自然を感じるにも関わらず、

大阪・京都・神戸へのアクセスが良いのが特徴です。

早生桃やいちじくなどの特産物や清和源氏発祥の地に関する

多くの史跡など、多くの魅力にあふれています。

このようなまちの魅力に支えられ、

かわにし暮らしの「心地よさ」が広がります。

新名神高速道路

川西 IC

猪名川

多田神社（天禄元年（970 年）創建）

多田院として国指定史跡となっている。本殿・拝殿・随神門は江戸中期に再建されたもので、国の重要文化財。ほかにも、清和源氏にまつわる歴史的価値のある文化財などが数多く残っている。



満願寺

奈良時代に建立され、源満仲公が多田の地に館を構えて以来、源氏ゆかりの「祈願所」として栄えた。山門には、明治時代の神仏分離の際に多田院から移設された金剛力士像が2体立っている。



鶯の森駅

阪急宝塚線

雲雀丘花屋敷駅

JR 福知山線

川西池田駅

川西能勢口駅

滝山駅

絹延橋駅

阪神高速

川西小花 IC

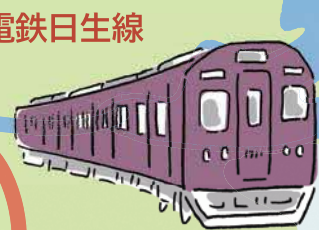
池田駅

北伊丹駅

中国自動車道

知明湖（ちみょうこ）

一庫（ひとくら）ダムの知明湖は、日本の「ダム湖百選」に選出。日本一の里山といわれている黒川地区にある。



日生中央駅

能勢電鉄日生線

山下駅

笹部駅

畦野駅

一の鳥居駅



平野駅

多田駅

鼓滝駅

三ツ矢サイダー® 発祥の地

能勢電鉄「平野」駅から北へ約 300m、そこには平野鉱泉が湧き出していた。明治時代に「平野水」と名付けられたその水は、全国でその名を知られ、現在の「三ツ矢サイダー®」となった。



いちじく：榊井（ますい）

ドーフィン

“朝採り・完熟”のいちじくとして有名で、新鮮さがセールスポイント。愛称は「朝採りの恵み」。主に市南部で栽培。

能勢電鉄妙見線

妙見口駅

光風台駅

ときわ台駅

頼光寺（らいこうじ）

6 月には 500 株のあじさいが咲き、「あじさい寺」として知られる。毎年アマチュア写真家や画家などの目を楽しませている。



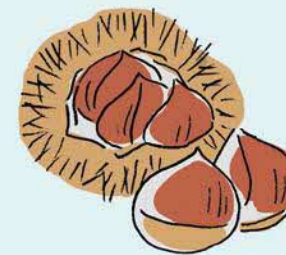
黒川の里山

約 8 年の周期でクヌギの木を伐採し、人が常に手を入れながら、里山をつくりあげている。年をずらしながら部分ごとに伐採を行うため、里山はモザイク状の景観に。こういった自然環境の保全と資源利用のサイクルが今なお続いていることなどから、「日本一の里山」といわれている。



炭：菊炭（きくずみ）

黒川地区では、茶会で使用される最高級品の炭「一庫炭」を生産。クヌギの木を焼いてできた炭は、切り口が菊の花のように美しいことから「菊炭」とも呼ばれている。



北摂栗：銀寄（ぎんよせ）

大阪府、京都府と隣接する北摂地区では、1000 年以上前から栗の栽培が行われてきた。当時の朝廷や幕府の将軍も、この地区の栗を口にしていたといわれている。



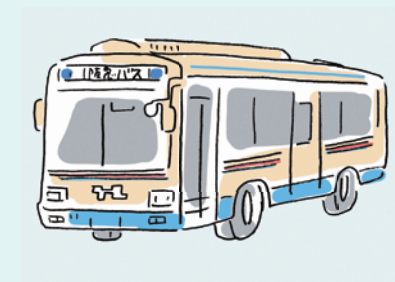
桃：早生桃（わせもも）

県下でも有数の桃の産地で、特に他よりも一足早く出荷される“早生桃”は旬の味を求める人に人気がある。主に市南部で栽培。



加茂遺跡

市内で最も代表的な遺跡。明治 44 年にここで「栄根銅鐸」が発見され、注目を浴びた。



かわにしの暮らして、心地よい。

まちのいいところが、普段の生活で感じられる“かわにしの暮らし”。
そんな暮らしが続いていくことで、まちへの愛着が育まれ、
“心地よい”ずっと住んでいたいまちになります。
そこに暮らす皆さんが、まちのいいところを共有できていることが大切です。



また帰ってきたいと思える暮らし



まちのにぎわいを感じる暮らし



地域をみんなで大切にする暮らし



市街地でも元気に遊べる暮らし



利便性が良く良質な住環境がある暮らし



ファミリー層が住んでみたいと思える暮らし



ふるさとの歴史にふれる暮らし



豊かな自然が身近な暮らし



大都市への利便性が高い暮らし

自治を育てる。 川西市が「ジブンゴト」になる。

これまで、人口減少、少子高齢化社会に対応していくために、市民をはじめ、自治会やコミュニティ、ボランティア、NPOなどと連携してそれぞれの持つ能力を最大限に発揮しながら取り組む、参画と協働のまちづくりを進めてきました。



一方で、社会の変化が著しく、市民それぞれの価値観も多様化する中で、これまでまちづくりの中心を担ってきた自治会やコミュニティの担い手不足が課題となっています。

そのような中、今、改めて市民一人ひとりが川西市のことや地域のことを「ジブンゴト」としてとらえ、主権者として政策過程に参加すること、まちづくりのプレイヤーとして参画することが大切であると考えます。



そのため、これからのまちづくりにおいては、市民がまちづくりを「ジブンゴト」として受け取るために自治をはぐくむ取組が重要です。無理に市外からの人口流入を求めるのではなく、川西市に関わり、まちに愛着をもつ市民を増やすことに注力します。行政は情報公開を進め意思決定の透明化を図る必要があり、それぞれの決定内容や結果に対して説明する責任を負います。

心地よさ 息づくまち 川西

～ジブンイロ叶う未来へ～

日々の暮らしの中で、ふとしたきっかけで心が弾むとき、人は笑顔になります。

まちは、そこに暮らす人の生活で形づくられるもの。

あなた自身が笑顔で暮らせることも、川西というまちを形づくる上で大切なものです。

1人ひとりが思い描く幸せの形は、きっと違います。

ただ、「幸せに暮らしたい」という思いは、誰もが同じように持っているのではないのでしょうか。

子どものにぎやかな声が飛び交い、1人ひとりの笑顔が満ちあふれ、

いつまでも安心して暮らせる日々。

そんな「何気ない日常」の積み重ねが心地よさをはぐくみ、それぞれの幸せを形づくりします。

幅広い世代の交流が盛んで、
それぞれが元気に
暮らせるといいな



いくつになっても、
新しいことにチャレンジできる
まちって素敵だね



子どもたちの
遊べる場所が少ない、
今あるものをもっと
有効活用していこう



この総合計画策定に
向けて行った、
市民参画の取組みで
でた意見です。



子どもがのびのび
育つまちに
していきたい

社会変化に対応できる、
持続可能な地域に



ケガした時に、通りがかった人に
助けてもらえて嬉しかった。
私もそんな大人になりたいな。

まず何より心と体
両方の健康が
一番大事



地域の繋がりで、
暮らしやすい
まちにしたい



自然が豊かな川西に
帰ってくると
ホッとするな



若い人が愛着を持ち、
また戻ってきたいと思える
まちにしたいね。

川西は、そんな「ジブンイロの幸せ」を

大切にし合えるまちでありたい。

まちの明日に必要なものは、この地に根ざした「愛着」です。

誰もが主役となり、

住み慣れた場所でジブンらしく、いきいきと輝ける。

そんなまちの未来を、みんなでつくりましょう。



私たちが大切にしたい思い

－ 4 つの基本姿勢－

都市像の実現に向けて、私たちが何を大切にしようとしているか。

その思いを 4 つ示しています。

これらは、年齢や立場に関係なく、川西に関わるあらゆる人と共有しようとするものです。

まちは、1 人ひとりの暮らしで形づくられています。

私たちは、年齢や立場はそれぞれ違いますが、縁あって同じまちに暮らしています。

川西で感じられる心地よさを次世代に引き継げるよう、

一緒に考え、取り組んでいきましょう。

I まず、「子どもの幸せ」から始めます。

子どもたちの笑顔は、世代を超えたにぎわいや活力を地域にもたらします。

笑顔あふれる子どもの成長を通じて、

あらゆる市民が幸せを感じられるまちをめざします。

II 人に寄り添い、 お互いの個性を認め合います。

誰もが、地域の一員として誰かを支えたり、フォローできる役割を少しずつ持っています。

各々のペースでまちに関わりながら互いを尊重し、

多様な個性を認め合えるまちをめざします。



III 未来に責任を持ち、 持続可能な仕組みをつくります。

私たちは、このまちを未来の子どもたちにしっかりと引き継ぐ責任があります。

そのために、人口減少社会や自然災害等を見据え、既存のまちのあり方を柔軟に見直し、

持続可能なまちをめざします。

IV 日々の暮らしで感じられる幸せを 大切にします。

1 人ひとりに安らげる居場所や充実した時間があることで、
このまちで過ごす時間がかけがえのない思い出になっていきます。

「やってみたい」ことに自らチャレンジでき、

それを応援しあえるあたたかいまちをめざします。

総合計画体系図

都市像の実現に向け、川西の強みを活かす5つの柱(分野別目標)を設定し、
新たな川西を創る施策を推進します。

基本構想
めざす都市像

心地よさ
息づくまち
川西

未来へ
のびる未来へ

4つの基本姿勢

- I まず、「子どもの幸せ」から始めます。
- II 人に寄り添い、お互いの個性を認め合います。
- III 未来に責任を持ち、持続可能な仕組みをつくります。
- IV 日々の暮らしで感じられる幸せを大切にします。

自治を育てる。川西市が「ジブント」になる。

「4つの基本姿勢」を
どんな時も意識して
取り組んでいこう

基本構想		基本計画			
5つの柱	No.	施策	No.	小施策	
01 人が豊かに育つ川西の実現	1	子ども・子育て	1	妊娠・出産・乳幼児支援 戦略	個別計画
			2	子育て環境整備 戦略	
			3	教育保育 戦略	
	2	人権・ジェンダー平等・多文化共生	4	若者支援 戦略	
			5	人権・ジェンダー平等・多文化共生	
	3	生涯学習	6	社会教育 戦略	
			7	芸術文化・スポーツ	
02 にぎわいが生まれる川西の実現	4	歴史・観光	8	歴史・観光 戦略	個別計画
			9	商工振興 戦略	
03 安心安全を備えた川西の実現	5	地域産業	10	農業 戦略	
			11	雇用就労・働く場の創出 戦略	
	6	防災・生活安全	12	地域防災 戦略	個別計画
04 快適な環境で暮らせる川西の実現	7	健康・医療体制	13	消防・救急 戦略	
			14	消費生活・防犯 戦略	
05 変革の歩みを止めない川西の実現	8	福祉	15	健康増進 戦略	
			16	地域医療 戦略	
			17	地域福祉 戦略	
			18	障害福祉 戦略	
			19	高齢者福祉 戦略	個別計画
			20	都市整備 戦略	
			21	住宅 戦略	
			22	道路 戦略	
			23	公共交通 戦略	
			24	公園 戦略	
			25	上下水道 戦略	
			26	生活衛生 戦略	個別計画
			27	環境保全 戦略	
			28	参画・協働 戦略	
			29	行財政運営 戦略	
			30	職員育成 戦略	
			31	ICT推進 戦略	
			32	広報広聴・魅力発信 戦略	

※重点的に取り組む小施策には「戦略」のタグ付けをしています。

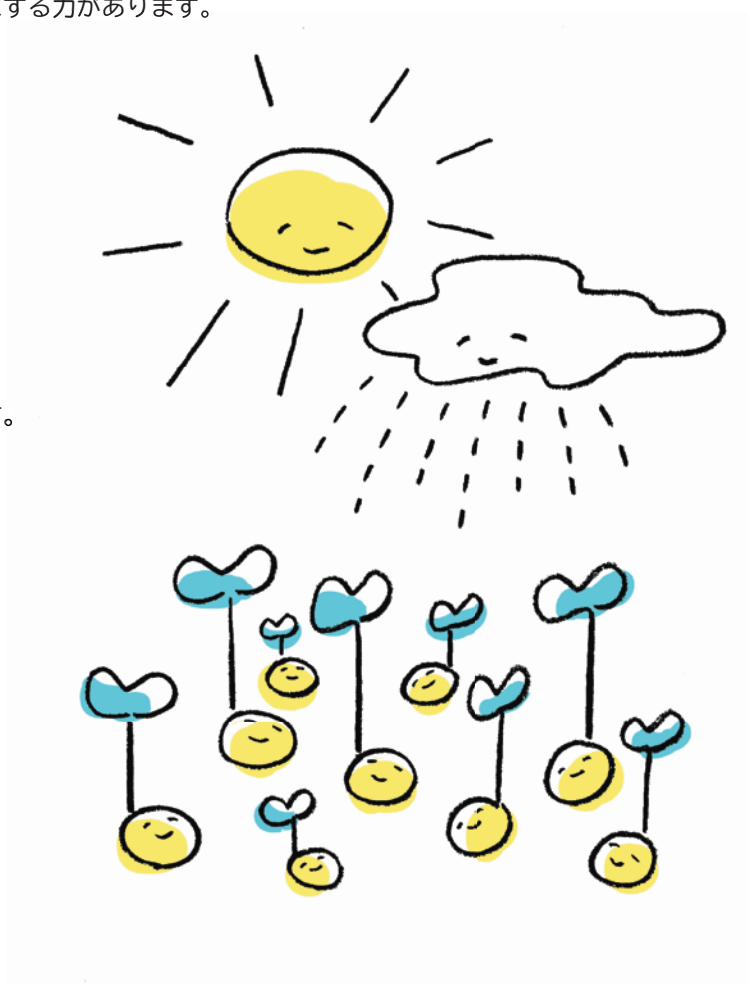
まちのミライを支える5つの柱 —分野別の目標—

都市像の実現に向けた取組みの方向性をイメージしやすいよう、
川西の強みを活かす5つの柱(分野別目標)を設定し、
新たな川西を創る施策を推進します。

01

人が豊かに育つ川西の実現

子どもたちが幸せでいることや、そこから広がる笑顔は、
世代を超えたにぎわいを生み、多くの人を幸せにする力があります。
そこで、まず子どもに笑顔（幸せ）に
なってもらいたいという思いから、
本市の施策は子ども・教育から始めます。
また、これまで以上に「人づくり」や
「つながりづくり」が求められることから、
個人の成長と地域社会の発展、
学びと活動の好循環を生み出すことで、
誰もが豊かに育つことのできる川西をめざします。



02

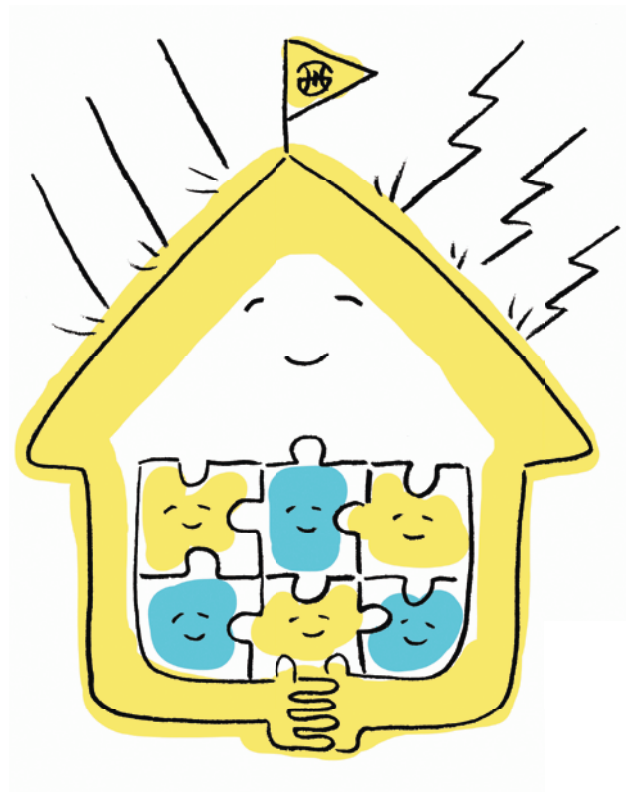
にぎわいが生まれる川西の実現

身近な地域で働き、豊かな暮らしが実現できるよう、
商業・工業・農業の持続性の向上と活性化に取り組み、
「働きたい・活動したい・住み続けたい」と思える場づくりを進め、
起業支援や、民間企業等との連携に取り組みます。
また、中心市街地の回遊性を高め、
地域資源を活かしたイメージの向上や観光交流なども通じて、
市民にとっては「住み続けたい、帰ってきたい」、
市外のかたには「訪れたい」と思えるような、
にぎわいが生まれる川西をめざします。



安心安全を備えた川西の実現

子どもから高齢者まで、障がいがある人もない人も、居場所があること、自分の力を発揮できる場所があることは幸せを実感するうえで重要なことです。いくつになっても、困難を抱える人も、住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるように取り組んでいきます。併せて、多発する大規模災害、巧妙化する犯罪、社会情勢の変化などに的確に対応し、安全で安心して暮らせる川西をめざします。



快適な環境で暮らせる川西の実現

本市は豊かな自然環境を有し、高度経済成長期に住宅開発によって成長してきたまちで、緑豊かな環境と利便性を併せ持っていることが大きな特徴です。このようなまちの特徴を大切にするため、自然や文化、生物多様性の理解を深め、守り、育み、共生する、ふるさとに愛着が持てる取り組みを進めていきます。併せて、人口減少や少子・高齢化の進展など、環境は大きく変化していくことから、既存の都市基盤を有効活用しながら、民間活力などにより都市に新たな魅力や価値を加え、持続可能で生活の質の高い、快適な環境で暮らせる川西をめざします。

変革の歩みを止めない川西の実現

複雑・多様化する行政ニーズに的確に対応するために、限られた経営資源を効率よく有効に活用した施策の実施、事務事業の見直し、ICT（情報通信技術）化を進めます。また、変化に柔軟に対応できる組織体制の構築、職員の能力開発などの人材育成に努めます。併せて、情報の受け手である市民が必要としている情報や、市が知ってほしい情報を効果的に伝える取り組みを推進するなど、変革の歩みを止めない川西をめざします。

